



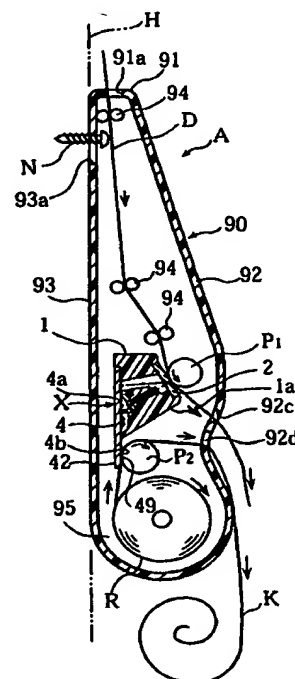
(51) 国際特許分類6 H04N 1/00, 1/024	A1	(11) 国際公開番号 WO00/03536 (43) 国際公開日 2000年1月20日(20.01.00)
(21) 国際出願番号 PCT/JP99/03716 (22) 国際出願日 1999年7月8日(08.07.99) (30) 優先権データ 特願平10/197333 1998年7月13日(13.07.98) JP 特願平10/329011 1998年11月19日(19.11.98) JP (71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) ローム株式会社(ROHM CO., LTD.)(JP/JP) 〒615-8585 京都府京都市右京区西院溝崎町21番地 Kyoto, (JP) (72) 発明者; および (75) 発明者/出願人 (米国についてののみ) 藤本久義(FUJIMOTO, Hisayoshi)(JP/JP) 大西弘朗(ONISHI, Hiroaki)(JP/JP) 高倉敏彦(TAKAKURA, Toshihiko)(JP/JP) 今村典広(IMAMURA, Norihiro)(JP/JP) 〒615-8585 京都府京都市右京区西院溝崎町21番地 ローム株式会社内 Kyoto, (JP)		(74) 代理人 吉田 稔, 外(YOSHIDA, Minoru et al.) 〒543-0014 大阪府大阪市天王寺区玉造元町2-32-1301 Osaka, (JP) (81) 指定国 CA, CN, KR, US, 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE) 添付公開書類 国際調査報告書

(54) Title: WALL-HUNG IMAGE PROCESSOR

(54) 発明の名称 壁掛け用画像処理装置

(57) Abstract

A wall-hung image processor (A) comprises a case (90) for attachment to a substantially vertical wall (H) and an integrated image read/write head (X) built into the case (90). A plurality of photodetector elements (4a) are mounted on one side (4A) of the substrate (4) of the read/write head (X). The side (4A) partially protrudes sideways from the case (1) and forms an extension surface (49), on which a plurality of printing elements (4b) are mounted.



(57)要約

壁掛け用画像処理装置（A）は、略鉛直状の壁面（H）に取り付けられる筐体（90）と、筐体（90）内に組み込まれる画像読み書き一体ヘッド（X）とを具備している。画像読み書き一体ヘッド（X）の基板（4）の片面（4A）には、複数の受光素子（4a）が搭載されている。片面（4A）の一部は、ケース（1）の側方にはみ出したはみ出し面（49）とされており、このはみ出し面（49）上に複数の印字用素子（4b）が搭載されている。

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に掲載されたPCT加盟国を同定するために使用されるコード(参考情報)

AE アラブ首長国連邦	DM ドミニカ	KZ カザフスタン	RU ロシア
AL アルバニア	EE エストニア	LC セントルシア	SD スーダン
AM アルメニア	ES スペイン	LI リヒテンシュタイン	SE スウェーデン
AT オーストリア	FI フィンランド	LK スリランカ	SG シンガポール
AU オーストラリア	FR フランス	LR リベリア	SI スロヴェニア
AZ アゼルバイジャン	GA ガボン	LS レント	SK スロヴァキア
BA ボスニア・ヘルツェゴビナ	GB 英国	LT リトアニア	SL シェラ・レオネ
BB バルバドス	GD グレナダ	LU ルクセンブルグ	SN セネガル
BE ベルギー	GE グルジア	LV ラトヴィア	SZ スワジランド
BF ブルキナ・ファソ	GH ガーナ	MA モロッコ	TD チャード
BG ブルガリア	GM ガンビア	MC モナコ	TG トーゴ
BJ ベナン	GN ギニア	MD モルドヴァ	TJ タジキスタン
BR ブラジル	GW ギニア・ビサウ	MG マダガスカル	TZ タンザニア
BY ベラルーシ	HR キリシヤチア	MK マケドニア旧ユーゴスラヴィア	TM トルクメニスタン
CA カナダ	HU ハンドガリー	共和国	TR トルコ
CF 中央アフリカ	ID インドネシア	ML マリ	TT トリニダード・トバゴ
CG コンゴ	IE アイルランド	MN モンゴル	UA ウクライナ
CH スイス	IL イスラエル	MR モーリタニア	UG ウガンダ
CI コートジボアール	IN インド	MW マラウイ	US 米国
CM カメルーン	IT イタリア	MX メキシコ	UZ ウズベキスタン
CN 中国	IS アイスランド	NE ニジェール	VN ヴェトナム
CR コスタ・リカ	JP 日本	NL オランダ	YU ユーゴスラビア
CU キューバ	KE ケニア	NO ノールウェー	ZA 南アフリカ共和国
CY キプロス	KG キルギスタン	NZ ニュー・ジーランド	ZW ジンバブエ
CZ チェッコ	KP 北朝鮮	PL ポーランド	
DE ドイツ	KR 韓国	PT ポルトガル	
DK デンマーク		RO ルーマニア	

明 細 書

壁掛け用画像処理装置

技術分野

本発明は、たとえば家屋内の壁面に取り付けられて使用される壁掛け用画像処理装置に関する。とくに、本発明は、画像の読み取り機能とプリント機能とを併せもつ壁掛け用画像処理装置に関する。

背景技術

画像処理装置の具体例としては、家屋の壁面に取り付けられて使用される壁掛け用ファクシミリ装置がある。この壁掛け用ファクシミリ装置の使用時には、上記壁面からファクシミリ装置が大きく突出しないようにすることが望まれる。したがって、壁掛け用ファクシミリ装置は、テーブルまたはデスク上に載置されて使用される他のタイプのファクシミリ装置よりも全体を薄型に製作する必要性が高い。

そこで、従来においては、たとえば図 1 1 に示すような画像読み書き一体ヘッド Y を筐体内に組み込んだファクシミリ装置がある。図示された画像読み書き一体ヘッド Y は、透明カバー 2 を一側面に装着したケース 1 を有しており、このケース 1 の内部には、透明カバー 2 の表面上に設定される画像読み取りライン L を照明するための光源 3 や、原稿画像結像用のレンズ 5 が配置されている。ケース 1 の他側面には、基板 4 が組付けられている。この基板 4 の表面 4 A および裏面 4 B には、複数の受光素子 4 a および複数の発熱素子 4 b のそれぞれがこの基板 4 の長手方向に延びる列状に配列されて搭載されている。

このような構成の画像読み書き一体ヘッド Y を備えたファクシミリ装置においては、原稿 D が透明カバー 2 の表面に密着するようにしてプラテンローラ P₁ により搬送される。この搬送過程において、原稿 D の表面が光源 3 によって照明される。すると、原稿 D によって反射された光はレンズ 5 によって集束され、原稿 D の画像が各受光素子 4 a 上に結像し、各受光素子 4 a からは画像信号が出力さ

れる。一方、感熱タイプの記録紙Kは、各発熱素子4bに密着するようにしてプラテンローラP₂により搬送される。この搬送過程において、選択された発熱素子4bが発熱することにより、記録紙Kには画像がプリントされる。このような構成のファクシミリ装置においては、読み取りヘッドとプリントヘッドとを別々に設けたものよりも全体を薄型にすることが可能である。

しかしながら、上記ファクシミリ装置においては、プラテンローラP₁、P₂が、画像読み書き一体ヘッドYの全体を挟むように配置される。したがって、プラテンローラP₁、P₂が画像読み書き一体ヘッドYの厚み方向に嵩張るものとなっていた。上記従来技術においては、このような理由により壁掛け用画像処理装置の薄型化を十分に図ることができず、壁面に取り付けて使用するときには装置全体がその壁面から大きく突出するものとなっていた。

発明の開示

本発明の課題は、上記従来技術の問題点を解消または減少することのできる壁掛け用画像処理装置を提供することにある。

本発明により提供される壁掛け用画像処理装置は、略鉛直状の壁面に取り付けられる筐体と、この筐体内に組み込まれる画像読み書き一体ヘッドとを具備しており、かつ、

上記画像読み書き一体ヘッドは、

列状に配された複数の受光素子が片面に搭載された基板と、

上記複数の受光素子を囲むようにして上記基板の上記片面上に取り付けられたケースと、

上記基板に対して間隔を隔てて対向するように上記ケースに装着され、原稿が接触搬送される透明カバーと、

上記ケース内に配置され、上記原稿を照明するための光源と、

上記ケース内に配置され、上記光源によって照明された原稿の画像を上記複数の受光素子上に結像させるための複数のレンズと、

上記複数の受光素子と同方向の列状に配され、上記基板に搭載された複数の印字用素子と、

を有している、壁掛け用画像処理装置であって、

上記基板の上記片面の一部分は、上記ケースの側方にはみ出したはみ出し面とされており、かつ、

上記複数の印字用素子は、上記はみ出し面上に配されていることを特徴としている。

この壁掛け用画像処理装置においては、透明カバーの表面に原稿を接触搬送させるための原稿用プラテンローラと、記録紙を複数の印字用素子に対して接触搬送させるための記録紙用プラテンローラとが、ともに基板の同一片面側に配置される。このため、従来技術とは異なり、画像読み書き一体ヘッドの全体を挟むように原稿用および記録紙用のプラテンローラを配置させる必要はない。その結果、上記各プラテンローラが画像読み書き一体ヘッドの厚み方向に大きく嵩張らないようにして、装置全体の薄型化を図ることができる。

好ましい実施の形態においては、上記透明カバーは、上記はみ出し面寄りの部分ほど上記基板との間隔が大きくなるように上記基板に対して傾斜させられている。

このような構成によれば、原稿用プラテンローラを透明カバーに対向させる場合に、原稿用プラテンローラと記録紙用プラテンローラとの相互間距離を確保しつつ、原稿用プラテンローラを基板に接近させることが可能となる。したがって、原稿の移送経路と記録紙の移送経路とを互いに干渉させないようにしつつ、壁掛け用画像処理装置の薄型化を一層促進することができる。

好ましい実施の形態においては、上記ケースは、上記はみ出し面に交差するようにして上記基板の上記片面上に立ち上がった外側面を有しており、かつこの外側面の少なくとも一部分は、上記基板から立ち上がるほど上記はみ出し面とは反対方向寄りに位置するように上記基板に対して傾斜させられている。

このような構成によれば、上記ケースの外側面が傾斜している分だけ、透明カバーをはみ出し面から遠ざけるように配置することができる。したがって、原稿用プラテンローラと記録紙用プラテンローラとの間の距離を確保することができ、原稿移送経路と記録紙移送経路とを適切に設定することができる。また、上記ケースの外側面の傾斜を利用することにより、記録紙用プラテンローラと上記ケー

スの外側面とが互いに干渉し合わないようにしつつ、記録紙用プラテンローラを上記ケースの外側面に接近させることも可能となる。

好ましい実施の形態においては、上記複数のレンズは、上記透明カバーに近づく部分ほど上記はみ出し面とは反対方向寄りに位置するように上記基板に対して傾斜させられている。

上記透明カバーのうち、上記複数のレンズに対向する個所が画像読み取りラインとなる。したがって、上記構成は、透明カバー上に設定される画像読み取りラインが、基板のはみ出し面とは反対方向寄りに設定されることを意味する。原稿用プラテンローラは、上記画像読み取りラインに対向して配置されるから、結局、この構成においても、原稿用プラテンローラと記録紙用プラテンローラとの間の距離を十分に確保することができることとなる。また、レンズを傾斜させれば、ケースの厚み寸法を大きくすることなく、上記画像読み取りラインと複数の受光素子との間の距離（原稿からの反射光の光路長）を長くし、レンズの焦点深度を深めることも可能となるから、読み取り画像の質を高めるのにも有利となる。

好ましい実施の形態においては、上記各印字用素子は発熱素子であり、かつ上記基板の上記片面とは反対の面に重なった放熱板がさらに具備されている。

このような構成によれば、熱転写記録方式または感熱記録方式による画像のプリントが行える。また、放熱板の放熱作用により、発熱素子の発熱温度を画像のプリントに最適な温度に維持することができる。

好ましい実施の形態においては、上記筐体には、上記壁面に固定して取り付けられる掛止用部材に係合可能な係合部が設けられている。

このような構成によれば、上記掛止用部材に上記係合部を係合させることにより、壁掛け用画像処理装置を壁面に簡単に取り付けることが可能となる。

好ましい実施の形態においては、上記筐体の前面部には、原稿および記録紙を筐体の外部に排出するための少なくとも1以上の排出口と、複数の操作スイッチとが設けられており、かつ上記複数の操作スイッチは、上記筐体を上記壁面に取り付けたときに上記排出口よりも上方に位置するように配されている。

このような構成によれば、壁掛け用画像処理装置を壁面に取付けて使用している場合において、排出口から排出される原稿や記録紙がその自重によって下方へ

垂れ下がっても、それら原稿や記録紙によって各操作スイッチが覆い隠されないようにすることができる。

好ましい実施の形態においては、上記筐体内には、記録紙用の収容部が設けられており、かつこの収容部は、上記筐体を上記壁面に取り付けたときに上記筐体の上下方向の中央部よりも下方寄りに配されるように、上記筐体内の偏った位置に配されている。

このような構成によれば、壁掛け用画像処理装置を壁面に取り付けて使用するとき、この装置の重心を筐体の下方寄りの位置に配置させることができる。したがって、壁掛け用画像処理装置の取り付け状態を安定させることができる。

好ましい実施の形態においては、上記筐体は、上記画像読み書き一体ヘッドが内部に装着され、かつ前面部の少なくとも一部が開口している筐体本体部と、上記開口部分を開閉可能な少なくとも1以上の蓋体とを具備して構成されているとともに、上記蓋体には、原稿用および記録紙用の複数のプラテンローラが取り付けられていることにより、上記蓋体を閉じたときには上記複数のプラテンローラが上記透明カバーと上記複数の印字用素子とのそれぞれと対向する個所に配置されるように構成されている。

このような構成によれば、原稿用および記録紙用の複数のプラテンローラのセッティングが容易となる。また、原稿や記録紙に紙詰まりを生じたときには、蓋体を開けることによって原稿用プラテンローラを透明カバーから引き離し、または記録紙用プラテンローラを複数の印字用素子から引き離すことができるために、紙詰まりを起こした原稿または記録紙を筐体の外部に簡単に取り出すことも可能となる。

好ましい実施の形態においては、上記蓋体としては、上記原稿用プラテンローラが取り付けられた第1の蓋体と、上記記録紙用プラテンローラが取り付けられた第2の蓋体とがあり、かつ上記筐体内には、上記第1の蓋体によって覆われる原稿移送経路と、上記第2の蓋体によって覆われる記録紙移送経路とが形成されている。

このような構成によれば、原稿移送経路または記録紙移送経路において紙詰まりを生じたときには、第1の蓋体と第2の蓋体とのいずれかを個別に開閉させる

ことにより、好適に対処することができる。

好ましい実施の形態においては、上記筐体には、この筐体を上記壁面に取り付けたときに上記画像読み書き一体ヘッドの透明カバーよりも上方に位置する原稿挿入口と、上記画像読み書き一体ヘッドの複数の印字用素子よりも下方に位置する記録紙用の収容部とが設けられている。

このような構成によれば、原稿挿入口から画像読み書き一体ヘッドまでの原稿移送経路と、記録紙用の収容部から画像読み書き一体ヘッドまでの記録紙移送経路とを、画像読み書き一体ヘッドの厚み方向に嵩張らないようにして適切に形成することができる。

好ましい実施の形態においては、上記第 1 の蓋体と上記第 2 の蓋体との間には、隙間が形成されており、かつこの隙間は、上記原稿および上記記録紙の共用の排出口とされている。

このような構成によれば、原稿用および記録紙用の排出口を 1 つだけ設ければよく、しかもこの排出口は第 1 の蓋体と第 2 の蓋体とを利用して形成することができるために、その製作が容易となる。

好ましい実施の形態においては、上記排出口の開口縁部には、記録紙カット用のエッジが形成されている。

このような構成によれば、排出口から排出された記録紙を上記エッジを利用して切断することができるので便利である。

好ましい実施の形態においては、上記エッジは、上記筐体を上記壁面に取り付けたときに下向きとなる上記第 1 の蓋体の一側縁部に形成されている。

このような構成によれば、壁掛け用画像処理装置を壁面に取り付けて使用する場合において、上記排出口から排出されてきた記録紙を切断するときには、その記録紙のうち、上記エッジよりも下方部分を指で押さえることができる。したがって、記録紙の切断を的確に行うことができる。

好ましい実施の形態においては、上記エッジは、上記第 1 の蓋体の一側縁部のうち、その長手方向両端部を除く領域に形成されている。

このような構成によれば、第 1 の蓋体の開閉操作は、この第 1 の蓋体の上記エッジが形成されていない個所をつまむことによって適切に行うことができる。

好ましい実施の形態においては、上記画像読み書き一体ヘッドには、上記第2の蓋体を閉じたときに上記記録紙用プラテンローラの軸部と当接するストッパが設けられている。

このような構成によれば、記録紙用プラテンローラと画像読み書き一体ヘッドとの位置決めを正確に行うことが可能となる。

本発明のその他の特徴および利点は、添付図面を参照して以下に行う詳細な説明から、より明らかとなろう。

図面の簡単な説明

図1は、本発明の第1の実施形態に係る壁掛け用画像処理装置の斜視図である。

図2は、図1のII-II断面図である。

図3は、図1に表す壁掛け用画像処理装置に用いられている画像読み書き一体ヘッドの分解斜視図である。

図4は、図3に表す画像読み書き一体ヘッドの断面図である。

図5は、本発明の第2の実施形態に係る画像読み書き一体ヘッドの断面図である。

図6は、本発明の第3の実施形態に係る画像読み書き一体ヘッドの断面図である。

図7は、本発明の第4の実施形態に係る壁掛け用画像処理装置の斜視図である。

図8は、図7のVIII-VIII断面図である。

図9は、図7に表す壁掛け用画像処理装置の蓋体を開いた状態の断面図である。

図10は、図7に表す壁掛け用画像処理装置に用いられている画像読み書き一体ヘッドの斜視図である。

図11は、従来の画像読み書き一体ヘッドの一例を表す断面図である。

発明を実施するための最良の形態

以下、本発明の好ましい実施例を、図面を参照して具体的に説明する。

図1～図4は、本発明の第1の実施形態を示している。なお、これらの図においては、従来例と同一または類似の要素には、同一の符号を付している。

図2によく表れているように、本実施形態の壁掛け用画像処理装置Aは、筐体90、この筐体90内に組み込まれた画像読み書き一体ヘッドX、原稿用プラテンローラP₁ および記録紙用プラテンローラP₂ を具備して構成されている。

図3および図4によく表れているように、画像読み書き一体ヘッドXは、ケース1、透明カバー2、レンズアレイ5、光反射防止部材6、基板4、およびその他の後述する部品類を具備して構成されている。

基板4は、たとえばセラミック製であり、長矩形状の板状である。この基板4の表面(片面)4Aには、複数の光源3、複数のイメージセンサチップ41、複数の駆動IC8および複数の発熱素子4bが搭載されている。

複数の光源3は、たとえばLEDチップを用いて構成されており、基板4の長手方向に適当な間隔を隔てて列状に実装されている。カラー画像の読み取りを可能とする場合には、複数の光源3として、たとえば赤色、緑色および青色の光をそれぞれ発するもの、あるいは白色の光を発するものが用いられる。複数のイメージセンサチップ41は、複数の受光素子4aが一体的に造り込まれていることによって光電変換機能を有している半導体チップであり、複数の光源3の列と略平行な列状に実装されている。

複数の発熱素子4bは、本発明でいう印字用素子の一例に相当する。これら複数の発熱素子4bは、たとえば酸化ルテニウムなどを導体成分とする厚膜抵抗ペーストを印刷・焼成することによって基板4の長手方向に一連に延びる線状の発熱抵抗体40を形成するとともに、この発熱抵抗体40をその長手方向に一定間隔で電氣的に分断する配線パターンを形成することによって作製することができる。複数の駆動IC8は、複数の発熱素子4bの発熱駆動を制御するためのものであり、複数の光源3と同様に、基板4の長手方向に適当な間隔を隔てて列状に実装されている。

複数の発熱素子4bの列は、基板4の幅方向の第1の側部42またはその近傍に配置されているのに対し、駆動IC8、受光素子4a、および光源3のそれぞれの列は、発熱素子4bの列よりも基板4の幅方向の第2の側部43寄りに配置されている。基板4の表面4Aには、この表面4A上に搭載された上記部品群に関連する配線パターン(図示略)が形成されている。基板4の適所には上記配線

パターンのそれぞれと導通した1または複数のコネクタ（図示略）が設けられており、このコネクタに配線接続を行うことによって外部機器から上記部品群への電力供給や各種の信号の入出力が行えるようになっている。

ケース1は、たとえばポリカーボネイトに酸化チタンを含有させた白色系の合成樹脂製であり、その長手方向の寸法は基板4と略同一である。このケース1は、複数の発熱素子4bの搭載箇所を避けるようにして基板4の表面4A上に組み付けられている。基板4の表面4Aのうち、第1の側部42寄りの一部分は、ケース1の一方にはみ出したはみ出し面49とされており、複数の発熱素子4bはこのはみ出し面49上に位置している。ケース1に基板4を組み付ける手段としては、たとえばこれらケース1と基板4とを互いに掛止させる手段、バネクリップを用いてこれらをクランプする手段、あるいはこれらを接着剤を用いて接着させる手段を採用することができる。

透明カバー2は、読み取り対象となる原稿Dをガイドするためのものであり、たとえば透明なガラス製または合成樹脂製のプレートである。この透明カバー2は、ケース1の凹部10に嵌め込まれることにより、基板4と間隔を隔てるようにしてケース1に装着されている。ただし、透明カバー2は、基板4の第1の側部42に近づく部分ほど基板4との間隔が大きくなるように、基板4に対して傾斜している。ケース1は、はみ出し面49に交差するようにして基板4の表面4Aから立ち上がった外側面1aを有しており、この外側面1aは、透明カバー2に近づくほど基板4の第2の側部43寄りとなる傾斜面とされている。

レンズアレイ5は、長細状の合成樹脂製のレンズホルダ50に複数のロッドレンズ51を列状に並べて保持させたものである。結像用レンズとしてロッドレンズ51を用いれば、原稿Dの画像を各受光素子4a上に正立等倍に結像させることが可能である。ただし、本発明においては、これ以外のレンズを用いてもかまわない。このレンズアレイ5は、ケース1の内部に設けられた凹溝16に嵌入されていることにより、透明カバー2に対向して設けられている。ただし、このレンズアレイ5は、透明カバー2に近づくほど基板4の第2の側部43寄りとなるように基板4に対して傾斜している。透明カバー2の表面のうち、レンズアレイ5と対向する部分が画像読み取りラインLとなる。

ケース 1 の内部には、第 1 および第 2 の光路 1 2, 1 2 a が設けられている。第 1 の光路 1 2 は、複数の光源 3 から発せられた光を画像読み取りライン L に導く光路であり、ケース 1 の厚み方向に貫通している。これに対し、第 2 の光路 1 2 a は、画像読み取りライン L から反射されてきた光をレンズアレイ 5 を介して複数の受光素子 4 a 上に導く光路であり、凹溝 1 6 を含んで構成されている。既述したとおり、ケース 1 は白色の樹脂製であるため、ケース 1 の各所は光の反射率が高い白色である。したがって、複数の光源 3 から発せられた光については、第 1 の光路 1 2 の白色の壁面によって高い反射率で反射させながら画像読み取りライン L に導くことができ、画像読み取りライン L への光の照射効率を高くすることができる。

光反射防止部材 6 は、たとえば黒色顔料やガラス粉末を含むポリカーボネートあるいは A B S 樹脂などの合成樹脂製であり、各所の表面は光の吸収率が高い黒色とされている。この光反射防止部材 6 は、複数のイメージセンサチップ 4 1 の周囲を囲むように、ケース 1 の底部に設けられた凹部 1 1 内に配されている。より具体的には、この光反射防止部材 6 は、複数のイメージセンサチップ 4 1 の上方に位置する上壁部 6 0、この上壁部 6 0 から基板 4 に向けて突出した側壁部 6 1, 6 2 を有しており、これらの部分によって複数のイメージセンサチップ 4 1 の周囲が囲まれている。上壁部 6 0 には、第 2 の光路 1 2 a を塞がないようにするためのスリット 6 3 が設けられている。

光反射防止部材 6 は、上壁部 6 0 に設けられた複数の突起部 6 4 を凹部 1 1 に連設された複数の凹部に嵌入させることによってケース 1 に取付けられている。このように、複数のイメージセンサチップ 4 1 の周囲を光反射防止部材 6 によって囲み込めば、原稿 D からの反射光が凹部 1 1 の白色の壁面の影響を受けないようにでき、しかもこの光反射防止部材 6 の内方領域においても原稿 D からの反射光が散乱反射しないようにできる。したがって、各受光素子 4 a にノイズの原因となる散乱光が入射しないようにできる。また、光反射防止部材 6 は、ケース 1 の外部の光を遮断する役割をも果たす。具体的には、ケース 1 の外側面 1 a と基板 4 の表面 4 A とが交差する部分に隙間が存在し、外部の光がこの隙間を通過して受光素子 4 a に向けて進行してきても、この光を光反射防止部材 6 が遮断する。

イメージセンサチップ 4 a の周囲における光の散乱反射を防止する手段としては、光反射防止部材 6 を用いる手段に代えて、空間室 1 1 の壁面に黒色系の塗装を施す手段、あるいは空間室 1 1 の壁面に黒色系のシートもしくはフィルムを接着する手段を採用することもできる。

図 1 によく表れているように、筐体 9 0 は、たとえば合成樹脂製であり、その上面部 9 1 には、この筐体 9 0 の幅方向に延びる原稿挿入口 9 1 a が設けられている。筐体 9 0 の前面部 9 2 の上部には、各種の複数の操作スイッチ 9 2 a や表示部 9 2 b が設けられており、これら操作スイッチ 9 2 a や表示部 9 2 b よりも下方に原稿排出口 9 2 c や記録紙排出口 9 2 d が設けられている。

図 2 によく表れているように、原稿用プラテンローラ P_1 は、画像読み書き一体ヘッド X の透明カバー 2 に対向するように筐体 9 0 内に組み込まれている。原稿挿入口 9 1 a から原稿排出口 9 2 c に到る一定領域は、原稿用プラテンローラ P_1 や紙送りローラ 9 4 を有する原稿移送経路とされている。記録紙用プラテンローラ P_2 は、画像読み書き一体ヘッド X の複数の発熱素子 4 b に対向するように組み込まれている。筐体 9 0 の内部のうち、記録紙用プラテンローラ P_2 よりも下方の底部には、感熱タイプの長尺状の記録紙 K の巻取ロール R を収容する収容部 9 5 が設けられている。この収容部 9 5 から記録紙排出口 9 2 d に到る一定領域は、記録紙移送経路とされている。

次に、壁掛け用画像処理装置 A の作用について説明する。

図 2 によく表れているように、壁掛け用画像処理装置 A は、たとえば家屋内の略鉛直状の壁面 H に取り付けられて使用される。本実施形態においては、壁面 H に対する壁掛け用画像処理装置 A の取り付けは、筐体 9 0 の裏面 9 3 の上部に設けられている透孔 9 3 a の周縁部を、壁面 H に固定されたネジ体 N などの掛止用部材に係合させることにより行われている。したがって、透孔 9 3 a の周縁部は、本発明でいう係合部の一例に相当する。ただし、本願発明でいう係合部の具体的な構成はこれに限定されない。壁掛け用画像処理装置 A を壁面 H に取り付けるための手段としては、その他の種々の手段を採用することができる。たとえば、筐体 9 0 に適当な形状の金具を設けておき、この金具を壁面 H に固定された掛止用部材に係合させるように構成することもできる。

壁掛け用画像処理装置Aにおいては、原稿用および記録紙用のプラテンローラ P_1 、 P_2 が、画像読み書き一体ヘッドXの基板4の同一片面側に配置されている。このため、2つのプラテンローラ P_1 、 P_2 が画像読み書き一体ヘッドXの厚み方向に大きく嵩張らないようにでき、壁掛け用画像処理装置Aの薄型化を図ることができる。画像読み書き一体ヘッドXのケース1の外側面1aは傾斜しているために、はみ出し面49に対向する領域には、記録紙用プラテンローラ P_2 を配置するための空間スペースを広くとることができる。したがって、はみ出し面49の幅をさほど大きくすることなく、このはみ出し面49に対向する領域に記録紙用プラテンローラ P_2 を配置することも可能となり、装置全体の小型化を一層促進することができる。

原稿用および記録紙用のプラテンローラ P_1 、 P_2 を筐体90内に組み込む場合のそれらの組み込み方向は一致している。また、透明カバー2や複数の発熱素子4bに対するプラテンローラ P_1 、 P_2 の押しつけ方向も一致している。このため、筐体90内にプラテンローラ P_1 、 P_2 を組み込む作業も容易となる。画像読み書き一体ヘッドXは、複数のイメージセンサチップ41、発熱素子4b、および駆動IC8を基板4の同一面に搭載しているために、それらの搭載作業も容易となる。さらに、基板4に形成する配線パターンも基板4の表面4Aのみに形成すればよいために、その生産性を高めることもできる。

壁掛け用画像処理装置Aにおける原稿Dの画像の読み取り動作と記録紙Kへの画像のプリント動作とは、次のようにしてなされる。

すなわち、図2および図4において、原稿Dの画像の読み取り動作は、まず原稿挿入口91aに原稿Dが挿入されると、複数の紙送りローラ94の回転によってこの原稿Dが原稿用プラテンローラ P_1 と透明カバー2との間の画像読み取りラインLの位置まで移送される。すると、光源3によって原稿Dの表面の画像読み取りラインLが照明され、原稿Dからの反射光がレンズアレイ5によって集束されることにより、複数の受光素子4a上に原稿Dの画像が結像する。これにより、原稿Dの主走査方向の1ライン分の画像データの読み取りがなされ、その画像信号が複数の受光素子4aから出力される。原稿用プラテンローラ P_1 によって原稿Dが副走査方向に移送されることにより、上述の画像読み取り処理が1ラ

イン分ずつ繰り返して行われ、1 ページ分の読み取りが終了した原稿Dは筐体90の原稿排出口92cから外部に排出される。

一方、記録紙Kに画像がプリントされる場合には、まず巻取ロールRから繰り出された記録紙Kが記録紙用プラテンローラP₂と複数の発熱素子4bとの間に移送される。複数の発熱素子4bは、画像読み書き一体ヘッドXの外部から画像データを受信する複数の駆動IC8の制御によって選択的に通電されて発熱し、これによって記録紙Kには所望の画像が1ライン分ずつ記録され、画像記録がなされた記録紙Kは、最終的には筐体90の記録紙排出口92dから外部に排出される。

上記した画像の読み取り動作およびプリント動作は、それぞれ単独で行われることもあるが、これらの動作が同時に行われる場合がある。この場合には、原稿送りと記録紙送りとが同時に行われる。しかしながら、この壁掛け用画像処理装置Aにおいては、原稿Dと記録紙Kとが互いに干渉し合わないようにして、これらの送りを適切に行うことができる。すなわち、この壁掛け用画像処理装置Aにおいては、ケース1の外側面1aが傾斜していることによって透明カバー2を記録紙用プラテンローラP₂から遠ざけるように配置することができるために、透明カバー2に対向配置される原稿用プラテンローラP₁についても記録紙用プラテンローラP₂から遠ざけるように配置することができる。また、透明カバー2が傾斜しているために、原稿用プラテンローラP₁を基板4の表面4Aからあまり遠ざけることなく、記録紙用プラテンローラP₂から遠ざけることができる。さらに、レンズアレイ5が傾斜していることによって、透明カバー2上に設定される画像読み取りラインLが記録紙用プラテンローラPからさらに遠ざかることとなるために、このようなことによっても原稿用プラテンローラP₁を記録紙用プラテンローラP₂から遠ざけることが可能となる。したがって、この壁掛け用画像処理装置Aにおいては、プラテンローラP₁、P₂との中心間距離をスペース効率良く確保することができるのである。このため、壁掛け用画像処理装置Aの大型化を抑制しつつ、プラテンローラP₁、P₂によって移送される原稿Dと記録紙Kとが互いに干渉し合って画像の読み取り動作やプリント動作に支障を生じないようにすることができる。原稿Dや記録紙Kは、原稿排出口92cや記録

紙排出口 9 2 d の近傍においては互いに接近する。しかし、この部分においてはもはや原稿 D や記録紙 K をそれぞれの排出口 9 2 c, 9 2 d に振り分けるだけでよいから、この部分において原稿 D と記録紙 K とが互いに接近しても支障を生じることはない。

原稿 D や記録紙 K が排出口 9 2 c, 9 2 d から排出されると、これの先端部は自重によって下方へ垂れる。したがって、排出口 9 2 c, 9 2 d よりも上方に位置する複数の操作スイッチ 9 2 a や表示部 9 2 b が原稿 D や記録紙 K によって覆い隠されることはない。原稿 D や記録紙 K の排出中であっても操作スイッチ 9 2 a の操作や表示部 9 2 b の確認を適切に行うことができる。

図 5 および図 6 は、本発明の第 2 の実施形態および第 3 の実施形態を示している。なお、図 5 ～図 10 においては、第 1 の実施形態と同一または類似の要素については、同一符号を付している。

図 5 に示す画像読み書き一体ヘッド X a は、ケース 1 の光路 1 2 の全体または一部が、透明な導光部材 1 2 b によって形成された構成を有している。このような構成においては、光源 3 から発せられた光が導光部材 1 2 b の内部を進行するときに、導光部材 1 2 b の側面に到達した光をその側面によって全反射させることができる。したがって、光路 1 2 の壁面を白色にしなくても、画像読み取りライン L に効率良く光を導くことができる。

図 6 に示す画像読み書き一体ヘッド X b は、透明カバー 2 が基板 4 に平行に設けられている構成を有している。ただし、ケース 1 の外側面 1 a の少なくとも一部の領域については、曲面状または平面状の傾斜面とされている。このように、ケース 1 の外側面 1 a を傾斜面にするだけの構成であっても、ケース 1 に装着される透明カバー 2 を、基板 4 の第 2 の側部 4 3 寄りに偏らせることができる。したがって、原稿用プラテンローラ P₁ と記録紙用プラテンローラ P₂ との中心間距離をスペース効率良く確保することができる。もちろん、ケース 1 の外側面 1 a を基板 4 に垂直な平面にするとともに、透明カバー 2 を基板 4 に対して傾斜させる構成によっても、原稿用プラテンローラ P₁ と記録紙用プラテンローラ P₂ との中心間距離をスペース効率良く確保することができる。

図 7 ～図 10 は、本発明の第 4 の実施形態を示している。

図7および図8によく表れているように、第4の実施形態の壁掛け用画像処理装置Aaの筐体90Aは、筐体本体部95と、第1の蓋体96と、第2の蓋体97とを具備して構成されている。筐体本体部95は、一定の深さを有する前面開口状の容器状に形成されており、この内部に画像読み書き一体ヘッドXcが装着されている。第1の蓋体96は、筐体本体部95の前面開口部分の上部領域を閉塞するためのものであり、その上部が軸98aを介して筐体本体部95に支持されていることにより、軸98aを中心に矢印Na方向に回転可能となっている。この第1の蓋体96の表面部には、複数の操作スイッチ92aや表示部92bが設けられている。第1の蓋体96の上端部と筐体本体部95の上端部との間には細長な孔部が設けられており、この孔部が原稿挿入口91aとされている。第2の蓋体97は、筐体本体部95の前面開口部分の下部領域を閉塞するためのものであり、その下部が軸98bを介して筐体本体部95に支持されていることにより、軸98bを中心に矢印Nb方向に回転可能となっている。

第1の蓋体96の裏面部には、原稿用プラテンローラP₁が突起状のブラケット99aを介して取付けられている。第2の蓋体97の裏面部には、記録紙用プラテンローラP₂がブラケット99bを介して取付けられている。これらのプラテンローラP₁、P₂は、第1および第2の蓋体96、97が閉じられたときには透明カバー2の表面や複数の発熱素子4bに対向するように予め第1および第2の蓋体96、97に対して位置決めされている。

第1および第2の蓋体96、97は、これらを閉じたときにこれらの間に隙間が形成されるように形成されており、この隙間が原稿Dと記録紙Kとを筐体90Aの外部に排出するための共用の排出口92eとなっている。したがって、筐体90A内の上部には、原稿挿入口91aから挿入される原稿Dが原稿用プラテンローラP₁と透明カバー2との間を通過して排出口92eに到る原稿移送経路が形成されている。筐体90A内の下部には、この筐体90A内の下部にセットされた巻取ロールRから繰り出される記録紙Kが記録紙用プラテンローラP₂と複数の発熱素子4bとの間を通過して排出口92eに到る記録紙移送経路が形成されている。

第1の蓋体96の下向きの一側縁部96aは、排出口92eの開口縁部の一部

を構成しており、この一側縁部 9 6 a に記録紙切断用のエッジ 9 6 b が形成されている。図 7 によく表れているように、このエッジ 9 6 b は、一側縁部 9 6 a の長手方向全長域にわたっては設けられておらず、その長手方向両端部 9 6 c を除く領域において記録紙 K よりも幅広となるように形成されている。エッジ 9 6 b は、記録紙 K の切断が好適に行えるように比較的鋭利な形状である。これに対し、両端部 9 6 c は丸みを帯びた先端形状とされている。

図 1 0 によく表れているように、画像読み書き一体ヘッド X c は、その基本的な構成は第 1 の実施形態の画像読み書き一体ヘッド X と同様であるものの、基板 4 の裏面に放熱板 7 を接触させて設けている点において先の画像読み書き一体ヘッド X とはその構成が相違している。放熱板 7 は、複数の発熱素子 4 b から発せられる熱を外部に逃がして複数の発熱素子 4 b の温度を安定させる役割を果たすものであり、たとえば板金製である。この放熱板 7 の長手方向両端部には、略 U 字状の凹部 7 0 を有する一对のストッパ 7 1 が設けられている。これら一对のストッパ 7 1 は、たとえば放熱板 7 の長手方向両端部を屈曲することによって放熱板 7 と一体に形成されている。図 8 によく表れているように、この壁掛け用画像処理装置 A a においては、第 2 の蓋体 9 7 が閉じられたときには、記録紙用プラテンローラ P₂ の軸部が凹部 7 0 に嵌入し、一对のストッパ 7 1 に当接するように構成されている。

この壁掛け用画像処理装置 A a においては、第 1 および第 2 の蓋体 9 6, 9 7 の裏面に原稿用および記録紙用のプラテンローラ P₁, P₂ を取付けた構造であるため、プラテンローラ P₁, P₂ の取付け構造を簡易なものにできる。その反面、プラテンローラ P₁, P₂ を画像読み書き一体ヘッド X c との関係において所定の箇所に配置する作業は、第 1 および第 2 の蓋体 9 6, 9 7 を閉めるだけでよく、簡単に行うことができる。とくに、記録紙用プラテンローラ P₂ については、画像読み書き一体ヘッド X c の一对のストッパ 7 1 に当接保持させることによって、画像読み書き一体ヘッド X c との相対的な位置関係を規定することができるために、記録紙 K を複数の発熱素子 4 b に対して所望の圧力で適切に押しつけることができる。図 8 の仮想線に示すように、バネ 7 9 を利用して画像読み書き一体ヘッド X c の全体を矢印 N c に示す方向に付勢させておけば、記録紙用プ

ラテンローラ P₁ と発熱素子 4 b どうし、および原稿用プラテンローラ P₁ と透明カバー 2 どうしを互いに適度な圧力で接触させるのにより好都合となる。

原稿 D が原稿移送経路において紙詰まりを生じた場合には、図 9 に示すように、第 1 の蓋体 9 6 を開けることによって原稿用プラテンローラ P₁ を透明カバー 2 から大きく離反させることができる。したがって、紙詰まりを生じた原稿 D の取り出しが容易に行える。第 1 の蓋体 9 6 を開けるときには、たとえば指先を排出口 9 2 e に差し込んでからこの第 1 の蓋体 9 6 の一側縁部 9 6 a を把持する。その際、一側縁部 9 6 a の鋭いエッジを有しない長手方向両端部 9 6 c を持てばよい。記録紙 K に詰まりを生じた場合、あるいは記録紙 K が消費され尽くして巻取ロール R を交換または補充しなければならない場合には、第 2 の蓋体 9 7 を開けて記録紙用プラテンローラ P₂ を複数の発熱素子 4 b から大きく離反させることによって、やはりそれらの事態に好適に対処できる。

この壁掛け用画像処理装置 A a においては、1 つの排出口 9 2 e から原稿 D と記録紙 K とを排出させるようにしているために、原稿用と記録紙用との 2 つの排出口が設けられたものと比較すると、装置の構造を簡易にすることができ、外観形態もシンプルなものにできる。とくに、排出口 9 2 e は、実質的には第 1 の蓋体 9 6 と第 2 の蓋体 9 7 との隙間であるために、その形成も容易である。長尺状の記録紙 K が排出口 9 2 e から排出され、これを切断する場合には、図 8 に示す状態において記録紙 K の一部を矢印 N d に示す上方に持ち上げてから、記録紙 K を記録紙切断用のエッジ 9 6 b に接触させて捲りあげればよい。エッジ 9 6 b が排出口 9 2 e の開口縁部のうち上縁部に相当する部分に設けられているために、記録紙 K の切断時にはエッジ 9 6 b よりも下方において記録紙 K の一部を指先で押さえつけることが可能であり、その切断作業をやはり適切に行うことができる。

本発明に係る壁掛け用画像処理装置の各部の具体的な構成は、上述の実施形態に限定されず、種々に設計変更自在である。

たとえば、本発明においては、筐体内に組み込まれる画像読み書き一体ヘッドとしては、たとえば図 1 1 で示した従来のものと同様に、光源を、受光素子などを搭載した基板に搭載させることなくケース内に組み込むようにしてもかまわない。また、光源としては、LED 以外の光源を用いてもよい。

請 求 の 範 囲

1. 略鉛直状の壁面に取り付けられる筐体と、この筐体内に組み込まれる画像読み書き一体ヘッドとを具備しており、かつ、
 - 上記画像読み書き一体ヘッドは、
 - 列状に配された複数の受光素子が片面に搭載された基板と、
 - 上記複数の受光素子を囲むようにして上記基板の上記片面上に取り付けられたケースと、
 - 上記基板に対して間隔を隔てて対向するように上記ケースに装着され、原稿が接触搬送される透明カバーと、
 - 上記ケース内に配置され、上記原稿を照明するための光源と、
 - 上記ケース内に配置され、上記光源によって照明された原稿の画像を上記複数の受光素子上に結像させるための複数のレンズと、
 - 上記複数の受光素子と同方向の列状に配され、上記基板に搭載された複数の印字用素子と、
 - を有している、壁掛け用画像処理装置であって、
 - 上記基板の上記片面の一部分は、上記ケースの側方にはみ出したはみ出し面とされており、かつ、
 - 上記複数の印字用素子は、上記はみ出し面上に配されていることを特徴とする、壁掛け用画像処理装置。
2. 上記透明カバーは、上記はみ出し面寄りの部分ほど上記基板との間隔が大きくなるように上記基板に対して傾斜させられている、請求項1に記載の壁掛け用画像処理装置。
3. 上記ケースは、上記はみ出し面に交差するようにして上記基板の上記片面上に立ち上がった外側面を有しており、かつこの外側面の少なくとも一部分は、上記基板から立ち上がるほど上記はみ出し面とは反対方向寄りに位置するように上記基板に対して傾斜させられている、請求項1に記載の壁掛け用画像処理装置。

4. 上記複数のレンズは、上記透明カバーに近づく部分ほど上記はみ出し面とは反対方向寄りに位置するように上記基板に対して傾斜させられている、請求項 1 に記載の壁掛け用画像処理装置。

5. 上記各印字用素子は発熱素子であり、かつ上記基板の上記片面とは反対の面に重なった放熱板がさらに具備されている、請求項 1 に記載の壁掛け用画像処理装置。

6. 上記筐体には、上記壁面に固定して取り付けられる掛止用部材に係合可能な係合部が設けられている、請求項 1 に記載の壁掛け用画像処理装置。

7. 上記筐体の前面部には、原稿および記録紙を筐体の外部に排出するための少なくとも 1 以上の排出口と、複数の操作スイッチとが設けられており、かつ上記複数の操作スイッチは、上記筐体を上記壁面に取り付けたときに上記排出口よりも上方に位置するように配されている、請求項 1 に記載の壁掛け用画像処理装置。

8. 上記筐体内には、記録紙用の収容部が設けられており、かつこの収容部は、上記筐体を上記壁面に取り付けたときに上記筐体の上下方向の中央部よりも下方寄りに配されるように、上記筐体内の偏った位置に配されている、請求項 1 に記載の壁掛け用画像処理装置。

9. 上記筐体は、上記画像読み書き一体ヘッドが内部に装着され、かつ前面部の少なくとも一部が開口している筐体本体部と、上記開口部分を開閉可能な少なくとも 1 以上の蓋体とを具備して構成されているとともに、

上記蓋体には、原稿用および記録紙用の複数のプラテンローラが取り付けられていることにより、上記蓋体を閉じたときには上記複数のプラテンローラが上記透明カバーと上記複数の印字用素子とのそれぞれと対向する個所に配置されるように構成されている、請求項 1 に記載の壁掛け用画像処理装置。

10. 上記蓋体としては、上記原稿用プラテンローラが取り付けられた第1の蓋体と、上記記録紙用プラテンローラが取り付けられた第2の蓋体とがあり、かつ上記筐体内には、上記第1の蓋体によって覆われる原稿移送経路と、上記第2の蓋体によって覆われる記録紙移送経路とが形成されている、請求項9に記載の壁掛け用画像処理装置。
11. 上記筐体には、この筐体を上記壁面に取り付けたときに上記画像読み書き一体ヘッドの透明カバーよりも上方に位置する原稿挿入口と、上記画像読み書き一体ヘッドの複数の印字用素子よりも下方に位置する記録紙用の収容部とが設けられている、請求項10に記載の壁掛け用画像処理装置。
12. 上記第1の蓋体と上記第2の蓋体との間には、隙間が形成されており、かつこの隙間は、上記原稿および上記記録紙の共用の排出口とされている、請求項11に記載の壁掛け用画像処理装置。
13. 上記排出口の開口縁部には、記録紙カット用のエッジが形成されている、請求項12に記載の壁掛け用画像処理装置。
14. 上記エッジは、上記筐体を上記壁面に取り付けたときに下向きとなる上記第1の蓋体の一側縁部に形成されている、請求項13に記載の壁掛け用画像処理装置。
15. 上記エッジは、上記第1の蓋体の一側縁部のうち、その長手方向両端部を除く領域に形成されている、請求項14に記載の壁掛け用画像処理装置。
16. 上記画像読み書き一体ヘッドには、上記第2の蓋体を閉じたときに上記記録紙用プラテンローラの軸部と当接するストッパが設けられている、請求項10に記載の壁掛け用画像処理装置。

FIG.1

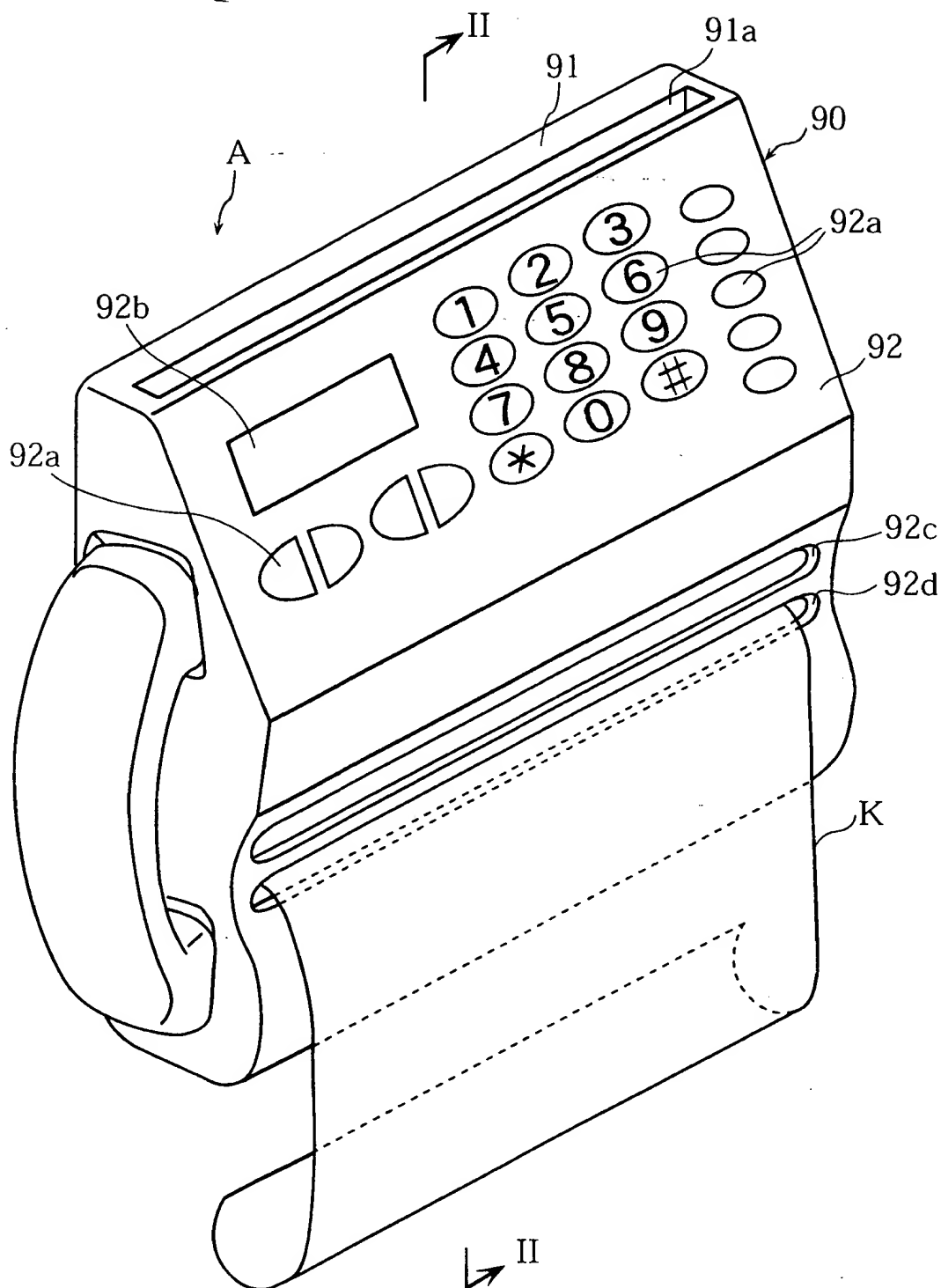




FIG.2

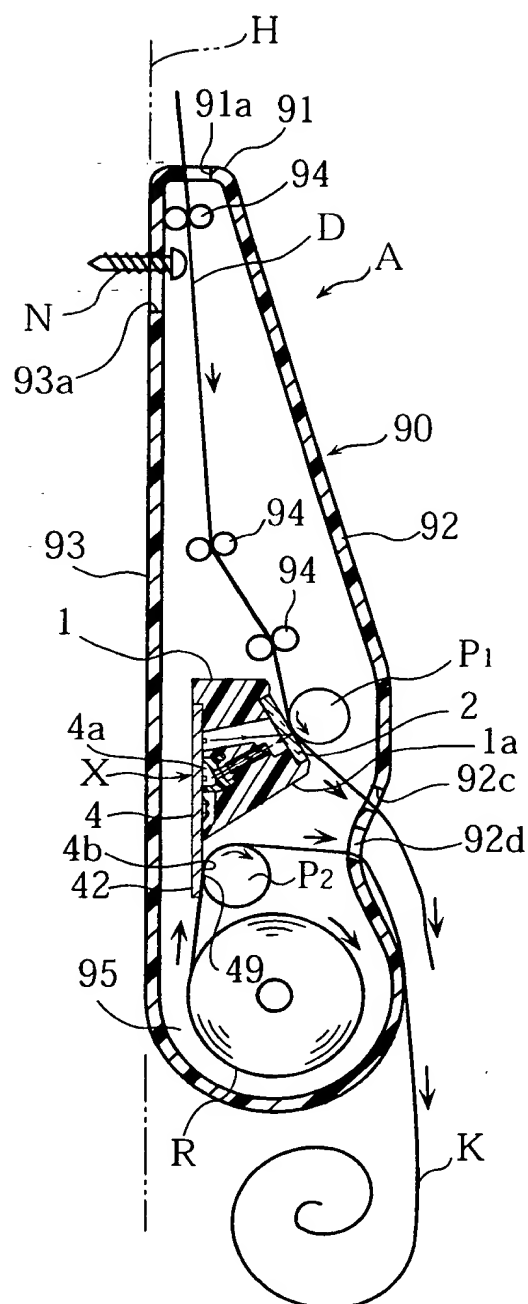




FIG. 3

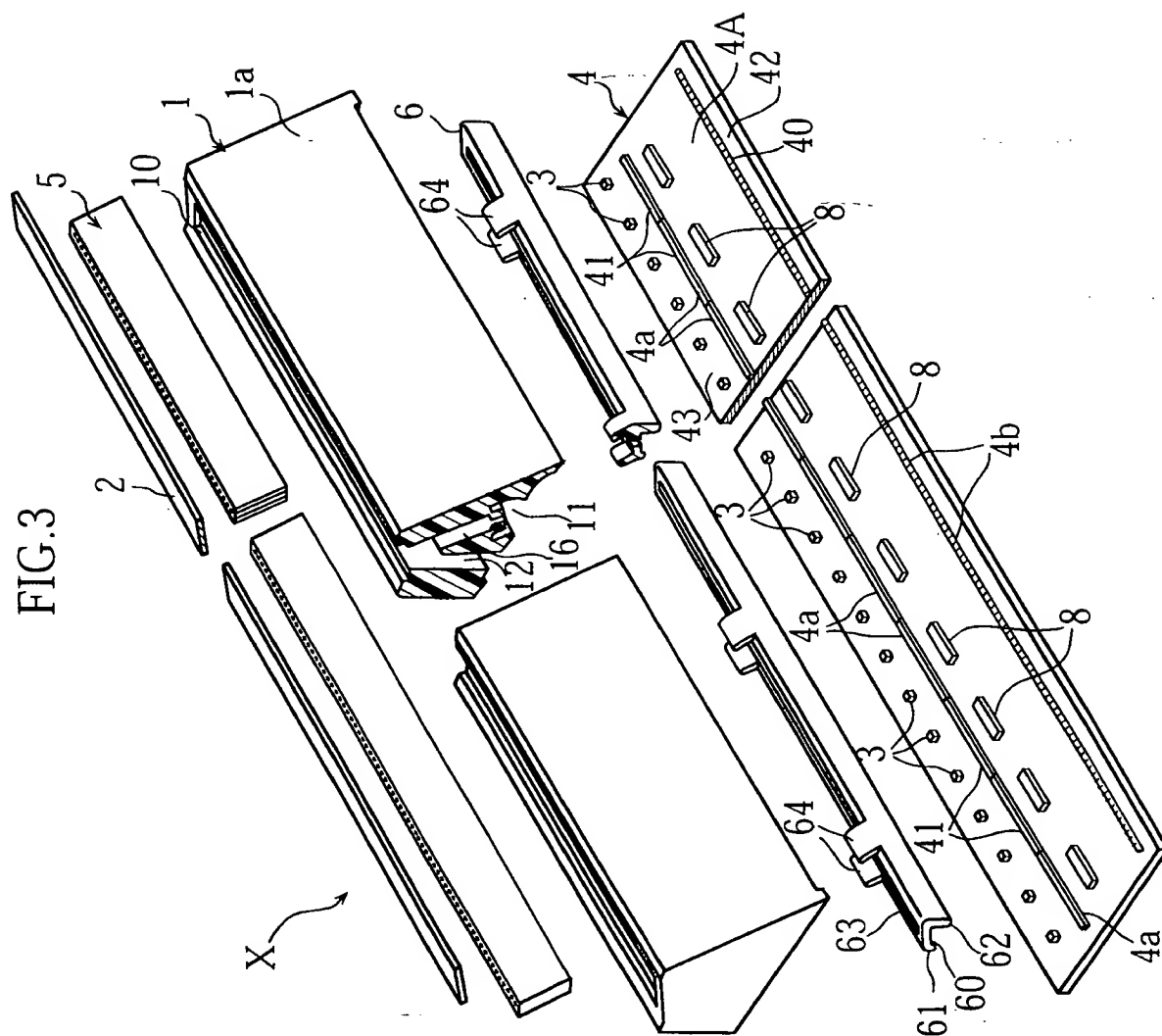




FIG.4

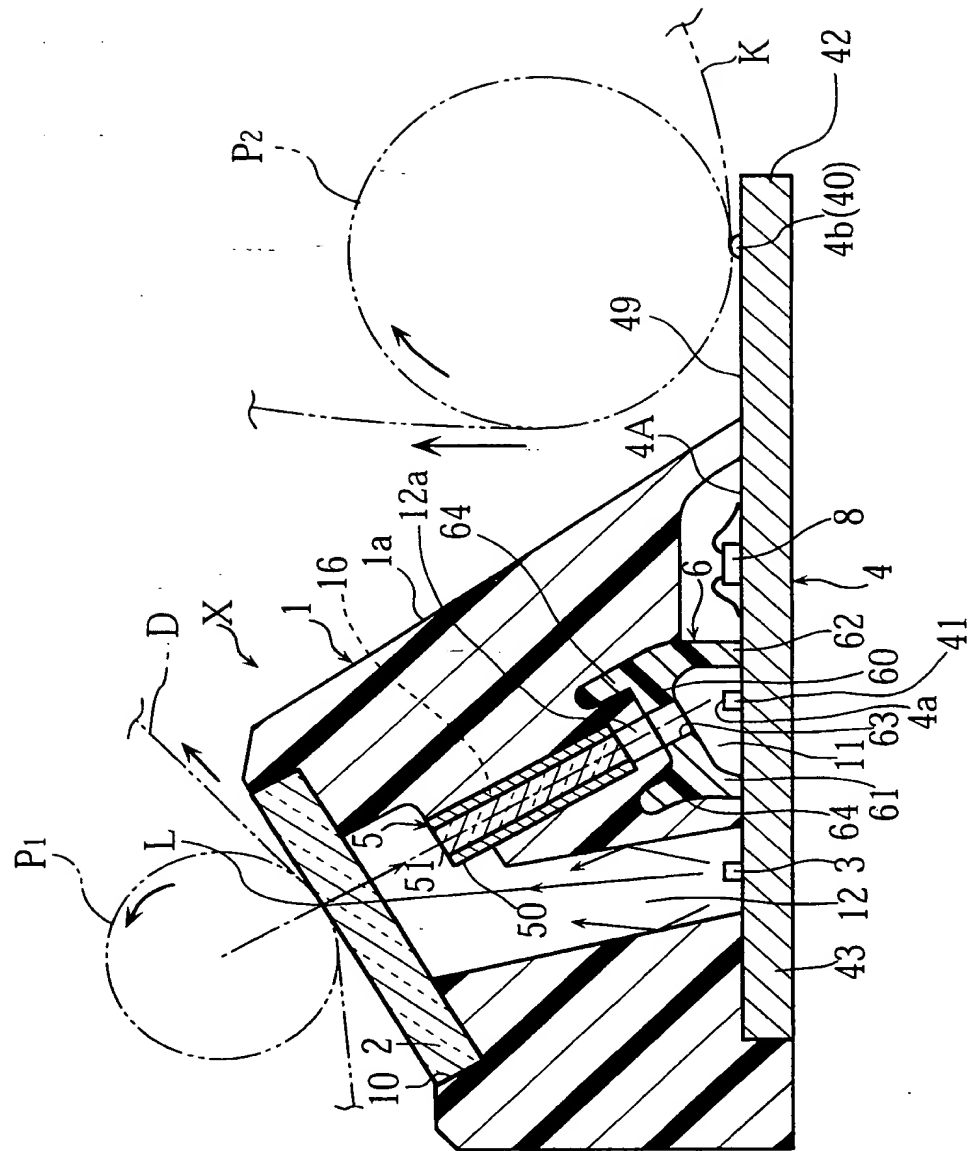




FIG.5

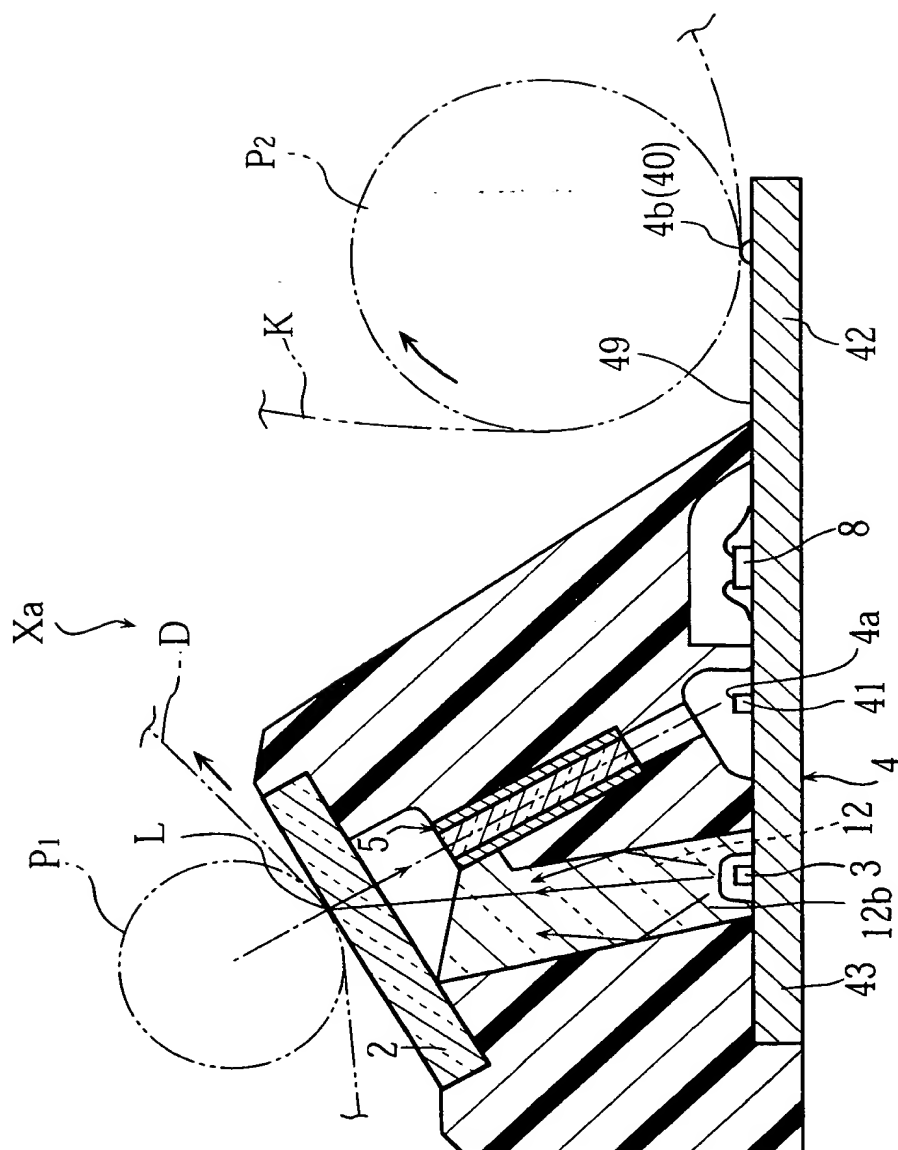




FIG.6

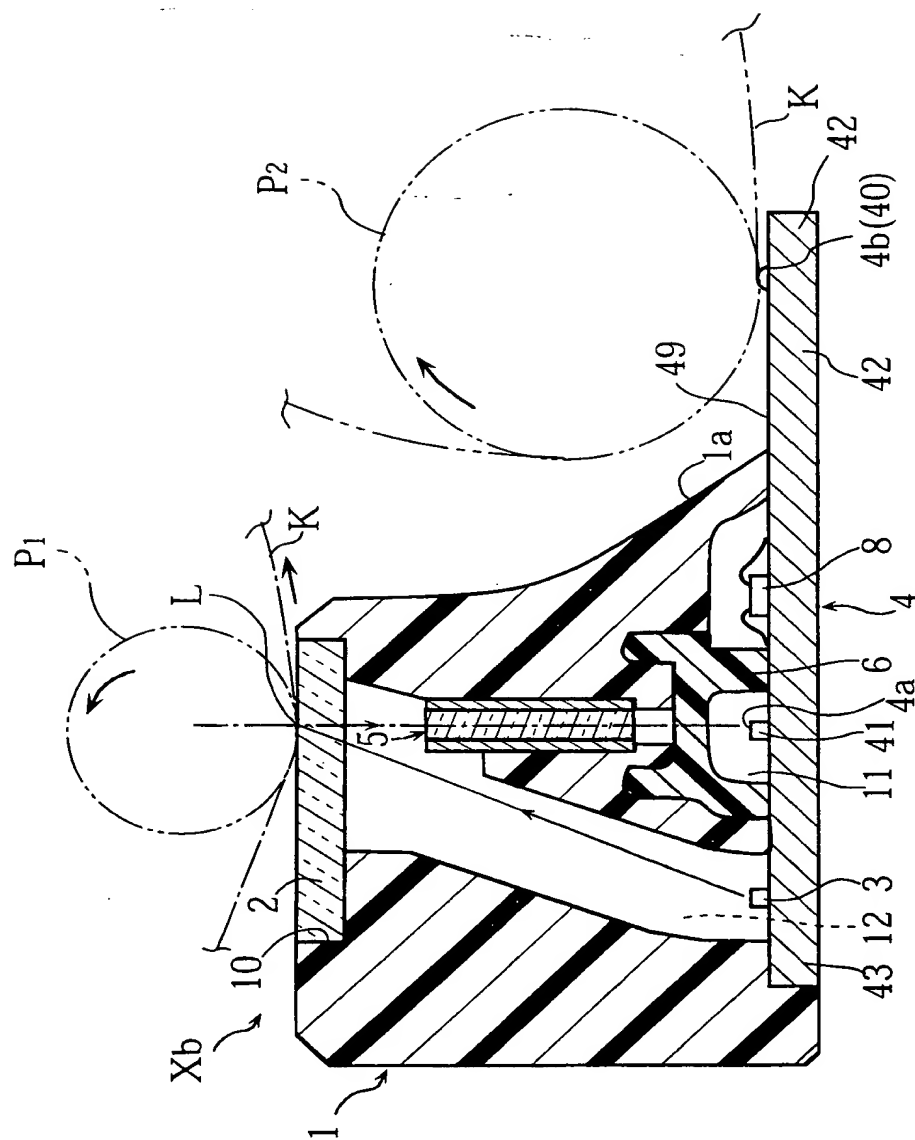
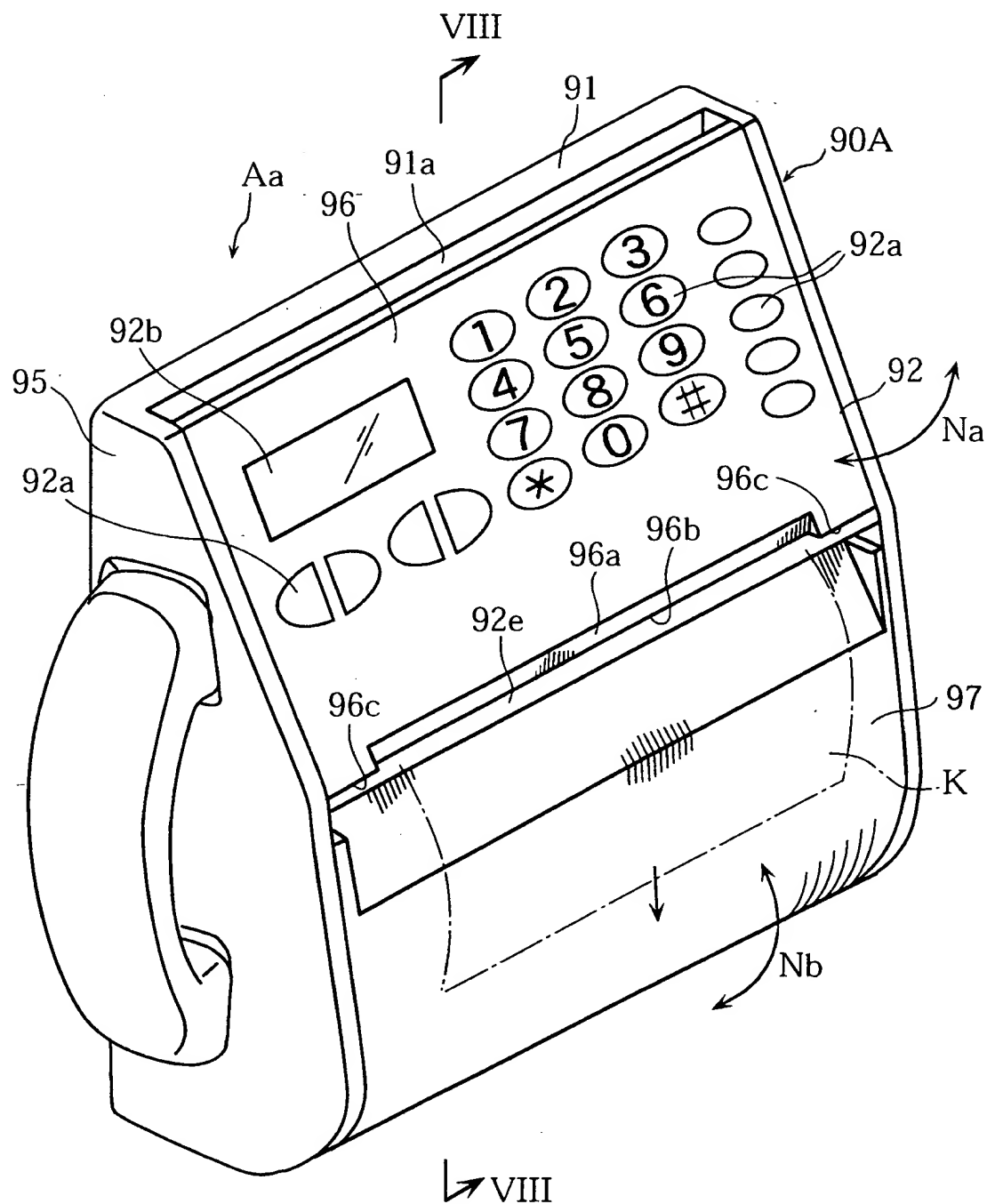


FIG. 7



VIII



FIG.8

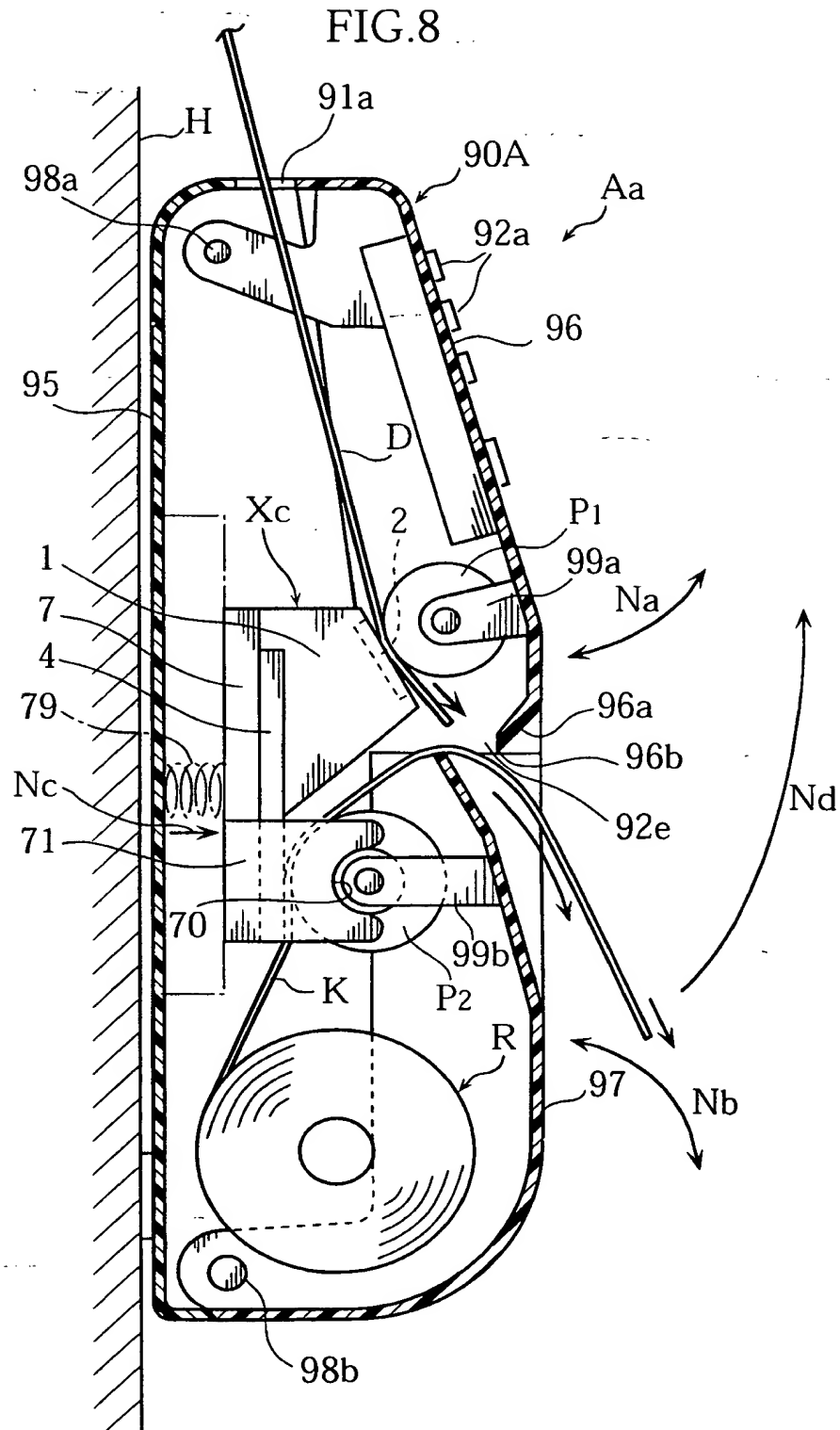






FIG.10

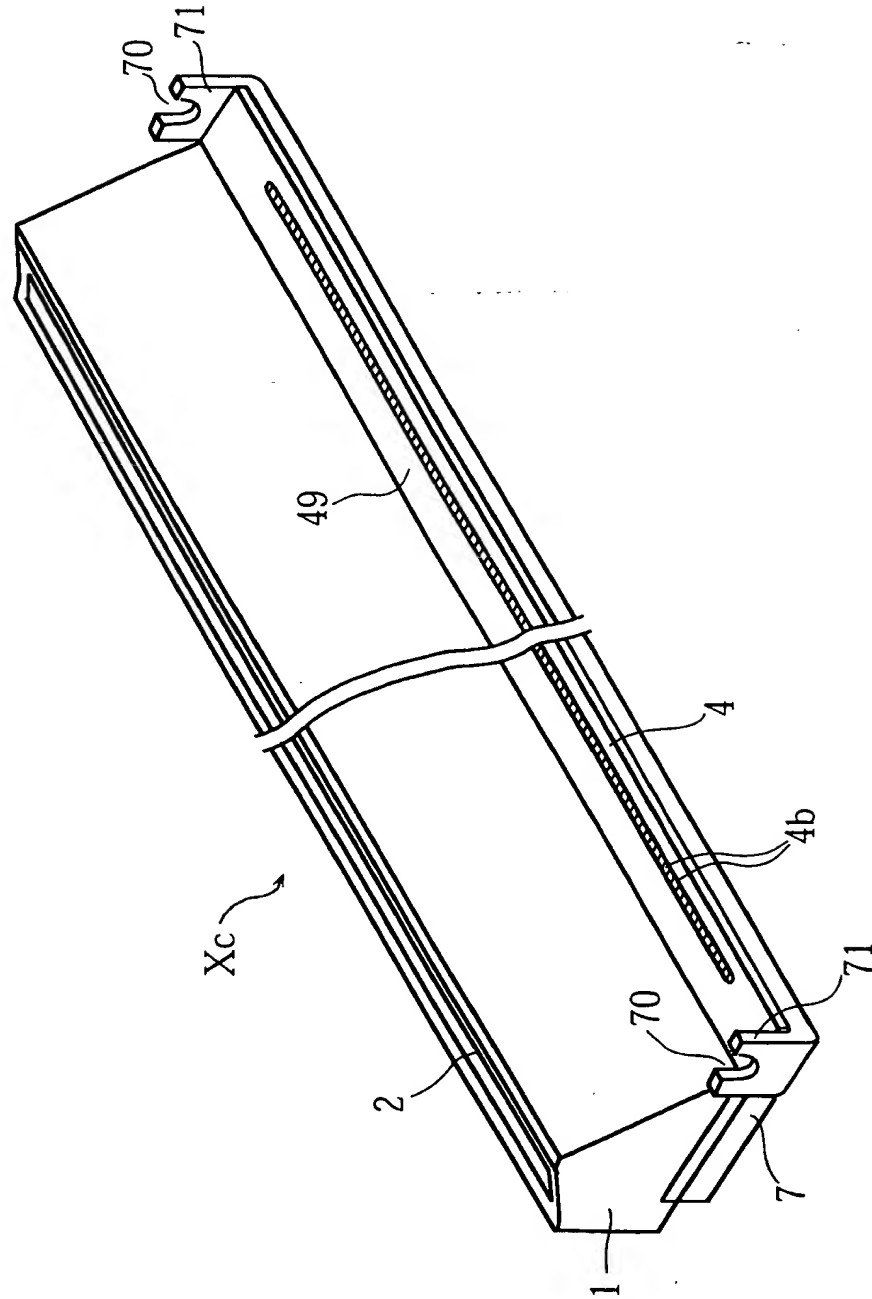
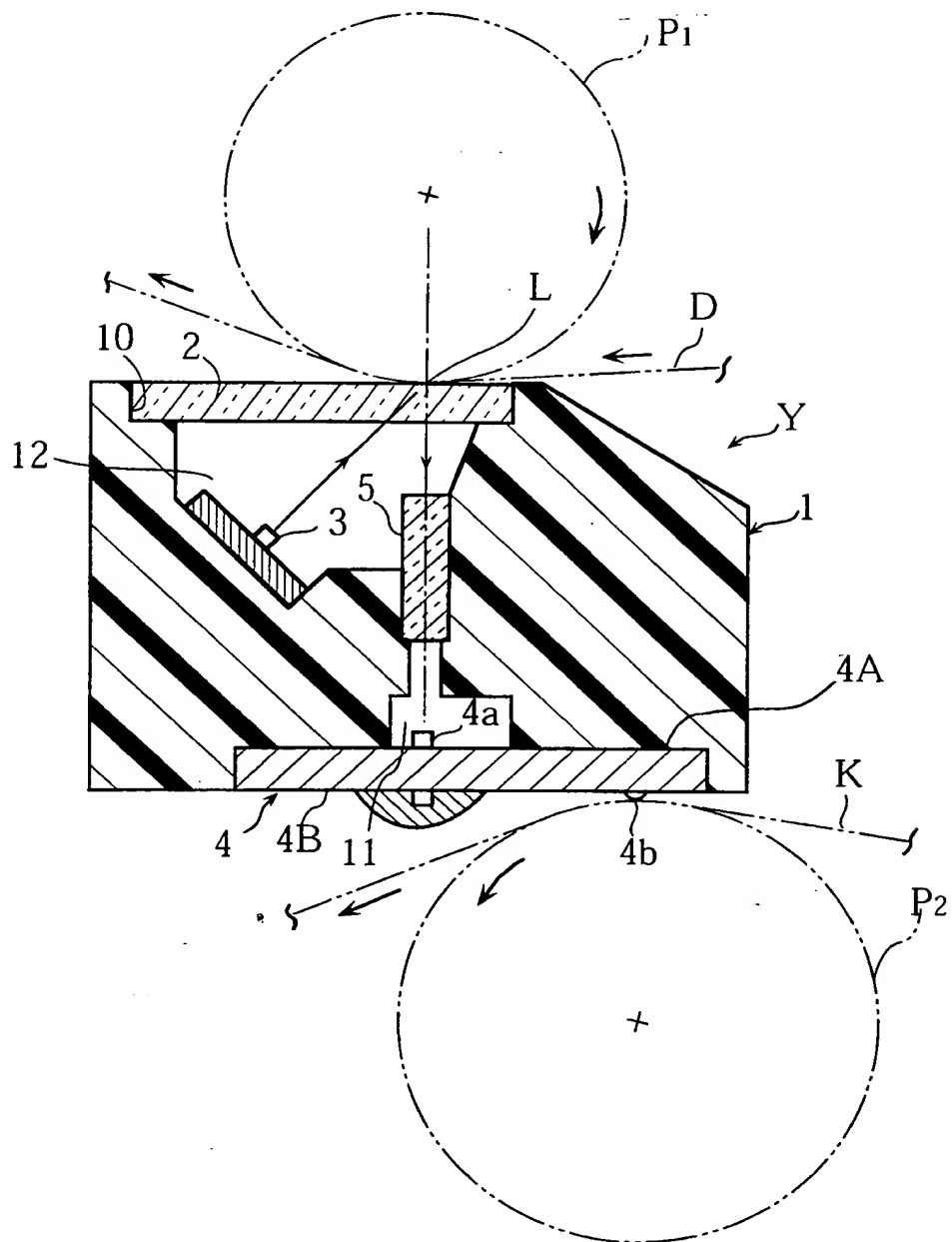


FIG.11



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP99/03716

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl.⁶ H04N1/00, 1/024

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
Int.Cl.⁶ H04N1/00, 1/024

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1926-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-1999
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-1997	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-1999

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP, 10-51587, A (Rohm Co., Ltd.), 20 February, 1998 (20. 02. 98) (Family: none)	1-16
A	JP, 9-284470, A (Rohm Co., Ltd.), 31 October, 1997 (31. 10. 97) (Family: none)	1-16
A	JP, 6-113069, A (Mita Industrial Co., Ltd.), 22 April, 1994 (22. 04. 94) (Family: none) Refer to Fig. 1	1-16
A	JP, 6-86004, A (Brother Industries, Ltd.), 25 March, 1994 (25. 03. 94) (Family: none) Refer to Fig. 1	1-16
A	JP, 6-70090, A (Mitsubishi Electric Corp.), 11 March, 1994 (11. 03. 94) (Family: none) Refer to Fig. 3	1-16
A	JP, 4-282952, A (Hitachi, Ltd.), 8 October, 1992 (08. 10. 92) (Family: none) Refer to Fig. 6	1-16

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

<p>* Special categories of cited documents:</p> <p>"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance</p> <p>"E" earlier document but published on or after the international filing date</p> <p>"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)</p> <p>"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means</p> <p>"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed</p>	<p>"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention</p> <p>"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone</p> <p>"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art</p> <p>"&" document member of the same patent family</p>
--	---

Date of the actual completion of the international search
6 October, 1999 (06. 10. 99)

Date of mailing of the international search report
19 October, 1999 (19. 10. 99)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁶ H04N 1/00, 1/024

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁶ H04N 1/00, 1/024

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1926-1996

日本国公開実用新案公報 1971-1997

日本国実用新案登録公報 1996-1999

日本国登録実用新案公報 1994-1999

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	J P, 10-51587, A (ローム株式会社) 20. 2月. 1998 (20. 02. 98) (ファミリーなし)	1-16
A	J P, 9-284470, A (ローム株式会社) 31. 10月. 1997 (31. 10. 97) (ファミリーなし)	1-16
A	J P, 6-113069, A (三田工業株式会社) 22. 4月. 1994 (22. 04. 94) (ファミリーなし), 第1図参照	1-16
A	J P, 6-86004, A (ブラザー工業株式会社) 25. 3月. 1994 (25. 03. 94) (ファミリーなし), 第1図参照	1-16

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

06. 10. 99

国際調査報告の発送日 19.10.99

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

大野 雅宏

5V

8113

電話番号 03-3581-1101 内線 3571

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	JP, 6-70090, A (三菱電機株式会社) 11. 3月. 1994 (11. 03. 94) (ファミリーなし), 第3図参照	1-16
A	JP, 4-282952, A (株式会社日立製作所) 8. 10月. 1992 (08. 10. 92) (ファミリーなし), 第6図参照	1-16